

公益社団法人 日本建築積算協会  
2019年度「建築積算士」試験案内

「建築積算士」とは、建築生産過程における工事費の算定並びにこれに付帯する業務に関し、高度な専門知識及び技術を有する専門家です。

【一次試験】（基本知識に関する問題）

- ① 受験資格：2019年4月2日現在、満17歳以上（2002年（平成14年）4月1日以前に生まれた方）であれば、学生、社会人の方すべてが受験できます。
- ② 受験申込：申し込み方法は、当協会ホームページに掲載する申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。その申込を受けて、仮受付書と受験料払込用紙をご住所あてにお送りしますので、受験料を払込んで受験申込が完了となります。（余裕を持って手続きをしてください。）
- ③ 申込期間：2019年6月3日（月）から9月2日（月）まで ※受験料払込日は、仮受付書で示す期限となります。
- ④ 受験手数料：27,000円（学生会員は13,500円）（消費税込）
- ⑤ 受験資格審査：受験申込が完了した申込者が記入した申込内容について審査します。
- ⑥ 試験地：札幌/仙台/東京/名古屋/大阪/広島/福岡/鹿児島/沖縄（全国9都市9会場）
- ⑦ 試験日時：2019年10月27日（日）／12:50～15:50（3時間）
- ⑧ 合格発表：2019年12月2日（月）10時頃に協会ホームページにて合格者の受験番号を公開します。  
合格者には合格通知書兼二次試験受験票をお送りします。

【二次試験】（実務知識に関する問題）

- ① 受験資格：今年度一次試験に合格した方、及び一次試験を免除された方となります。  
**※一次試験免除対象者：次のいずれかに該当する方は、一次試験が免除されます。**  
（ ）内は必要な書類＜婚姻等で証明書等の氏名変更の場合、戸籍抄本等必要＞。
  - a. 当協会が認定する建築コスト管理士、建築積算士補（受験申込時に資格登録番号をお知らせください）
  - b. 建築士法による一級建築士、二級建築士及び木造建築士（免許証等の写し）
  - c. 建設業法による一級及び二級建築施工管理技士（合格証明書等の写し）
  - d. 当協会が実施する積算学校卒業生（卒業した積算学校事務局発行の証明書又は卒業証）
  - e. 過去の一次試験合格者（二次試験受験票（正）又はその写し）
- ② 受験申込：申し込み方法は、当協会ホームページに掲載する申込フォームに必要事項を入力し、送信すると共に、その確認画面（受験申込フォーム）をプリントアウトして、一次試験免除の必要書類の写しと共に協会本部まで郵送してください。その申込を受けて、仮受付書と受験料払込用紙をご住所あてにお送りしますので、受験料を払込んで受験申込が完了となります。（郵送でのやり取りとなりますので余裕を持って手続きをしてください。）
- ③ 申込期間：2019年10月1日（火）～12月6日（金）まで ※受験料払込日は、仮受付書で示す期限となります。
- ④ 受験手数料：27,000円 （今年度一次試験合格者は不要）（建築積算士補、学生会員は13,500円）（消費税込）
- ⑤ 受験資格審査：受験申込が完了した申込者が記入した申込内容及び添付必要書類について審査します。
- ⑥ 試験地：札幌/仙台/東京/名古屋/金沢/大阪/広島/福岡/鹿児島/沖縄（全国10都市10会場）
- ⑦ 試験日時：2020年1月26日（日）／10:00～17:00（実技試験4時間30分、短文記述試験1時間）
- ⑧ 合格発表：2020年3月2日（月）10時頃に協会ホームページにて合格者の受験番号を公開します。
- ⑨ 資格登録手続き：合格発表後に合格者へ合格通知書と共に郵送する登録関連書類に必要事項を記入して、3月16（月）までに登録申請して下さい。
- ⑩ 登録手数料：12,000円（消費税別）

【ネットバンキングで受験料を支払う場合の振込み先】※受験者名でお振込みください。  
受験手数料払込先：ゆうちょ銀行 ○一九店（ゼロイチキウ店）  
当座／口座番号 0548396 、口座名義／公益社団法人 日本建築積算協会

【建築積算士として求められる知識の具体例】

- ✓ 生産プロセス：建設産業の特徴と変遷及び現状、コストマネジメントの考え方、建築生産プロセスとマネジメント
- ✓ 工事発注スキーム：入札の種類、発注方式、契約方式、数量公開、発注単位（パッケージ）
- ✓ 設計図書構成：設計図書構成と種類、優先順位
- ✓ 工事費構成：直接工事費と共通費の構成、主要建物用途の種目別工事費構成比率
- ✓ 積算業務内容：積算業務の流れ、積算実務（仮設、土工、躯体、仕上、設備、屋外施設、改修）、概算手法の概要、値入業務

- ✓ 数量積算基準：基準及び同解説の理解
- ✓ 標準内訳書式：基準及び同解説の理解
- ✓ 主要な市場価格：市場価格、コスト情報の入手方法
- ✓ データ分析と積算チェック：データ整理、歩掛、分析方法、積算チェック
- ✓ 施工技術概要：建築施工プロセス、標準的な施工法、特殊工法（省力化、工業化、工期短縮等）概要
- ✓ LCC・VE概要：LCC（ライフサイクルコスト）の概要、VE（バリューエンジニアリング）の概要
- ✓ 環境配慮概要：環境配慮とコスト概要

【試験方法と出題範囲】

- ◇一次試験◇
- ・試験時間・・・3時間
  - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブック全章（平成29年版建築数量積算基準・建築工事内訳書標準書式の主要な部分は、ガイドブックに記載されています。）
  - ・問題数・・・50問
  - ・問題形式・・・4肢択一
- ◇二次試験◇①短文記述試験（採点において足切り点があります）
- ・試験時間・・・1時間
  - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブックのうち第1章～第4章、第9章～第15章を対象とする。
  - ・問題数・・・2問
  - ・問題形式・・・問題に対する解答を短文（200字以内）で記述。
- ②実技試験（採点において足切り点があります）
- ・試験時間・・・4時間30分
  - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブックのうち第5章～第8章、巻末の基準類（平成29年版建築数量積算基準・内訳書標準書式は、ガイドブックに記載されています。）
  - ・問題数・・・躯体（コンクリート、型枠、鉄筋）、鉄骨、仕上、内訳明細作成・工事費算出（以上4分野）
  - ・問題形式・・・図面に基づき、数量を計測・計算する。内訳明細を作成する。

【参考図書】『建築積算士ガイドブック 2018年2月1日版（税込4,940円）』  
（2014年7月1日版以前の旧版をお持ちの方は「建築数量積算基準・同解説」および「建築工事内訳書標準書式・同解説」も必要となります。）図書購入お申し込みは、当協会あるいはAmazon.comへ。

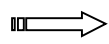
- 【注意事項】
1. 一旦納付された受験手数料は、当協会の責により試験を受けることができなかった場合を除き、返還されません。
  2. 当協会ホームページに前年度の問題と解説を公開しておりますのでご参考にしてください。また各支部にてガイドブックについての講習会が開講される予定ですので、どうぞご活用ください。
  3. 一次試験・二次試験（実技試験を含む）とも、試験中に書籍を持ち込んで閲覧することはできませんので、ご注意ください。
  4. 二次試験の採点において、実技問題Ⅰ～Ⅳ、短文記述問題のいずれかの問題の得点がない場合には不合格となります。
  5. 試験会場では、スマートフォン、携帯電話の類は**使用禁止**です。試験時間中は事前に配布する袋に入れ机の上に置いていただきます。それ以外の当該機器が発見された場合には受験できなくなりますのでご注意ください。
  6. プログラム機能のない関数電卓は1台まで持ち込み可能です。
  7. 色鉛筆およびマーカーペンの使用は許可します。

お気軽にお問い合わせください

公益社団法人 日本建築積算協会 本部事務局  
〒105-0014 東京都港区芝 3-16-12 サンライズ三田ビル 3階  
Tel 03-3453-9591 Fax 03-3453-9597 e-mail [hp@bsij.or.jp](mailto:hp@bsij.or.jp)

★★★資格の詳細（定義、各規程類、その他）については、協会ホームページをご参照ください★★★

積算協会



検索

<http://www.bsij.or.jp/>